

令和5年度 私立短期大学入試広報担当者研修会（全体会）報告書

大阪城南女子短期大学 山田 純

【講演Ⅰの総括】

講演Ⅰの満足度は、アンケートによると「とてもよかった」だけで62.5%と非常に高く、「とてもよかった」と「よかった」を合わせて95.2%となっており、参加者の高い期待に応えられたと考える。参加者が自短大のSNSとWEBサイトの課題を再確認するとともに、すぐにでも改善に繋げようと考えられたことは講演内容が優れていた結果であり、研修会参加の見える成果といえる。さらに、講演後に質問受付を実施したところ、参加者から大変多く質問があり、後日丁寧な回答がなされたことも加筆しておく。

【講演Ⅱの総括】

講演Ⅱの満足度は、「とてもよかった」と「よかった」を合わせて76.9%となっており、好評であった参加者は詳細なデータが地域別に提示されていることを評価しており、短大の現状を再認識できている。講演Ⅰと同じく、講演後に質問受付を実施したところ、参加者から質問があり、後日丁寧な回答がなされたことを加筆しておく。

【全体の総括】

研修会全体の満足度は、アンケートによると「大変満足」と「満足」を合わせて94.2%であり、全体として満足いただけた内容であった。ただし、各設定や運営など課題点もあった。テーマ設定や研修実施方法、運営についてはまだまだ改善の余地はあると考える。具体例としては、どのような研修会でも「講演でのスライドを全て提供して欲しい」という要望があるが、事実上不可能であることをどこまで丁寧に説明するのかは判断が難しい。また、参加者同士の研修会後の情報交換を強制することは主催者側としてはできず、研修会後の人脈づくりの方法を模索していきたい。

研修会の参加理由は、72.1%が「講演Ⅰ 学生が集まるSNSの使い方」に興味があったからと回答があり、高い関心があることが明確である。また、「意見交流分科会に参加して、他短大と情報交換をしたかった」から参加した方も60.6%に及び、この2つは今後の研修会テーマ設定の参考とすべきである。